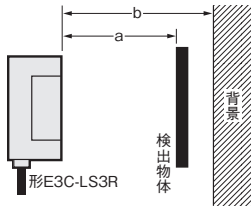


形E3C

センサ部

形E3C-LS3R



●調整方法(I)

検出物体の反射率が背景物体より高いか同程度の場合

- ① $a = 30 \pm 3$ mmにセットしてください。
- ② 感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を最大にし、アンプの入光 (LIGHT) と安定レベル (STABILITY) 表示が点灯することを確認してください。もし入光 (LIGHT)、安定レベル (STABILITY) 表示が点灯しないときは2~3mmの範囲で前後させて点灯の状態としてください。
- ③ 検出物体を取り除き、感度調整ボリュームを徐々に最小 (MIN) の方向へ回し、入光 (LIGHT) 表示が消灯する位置で止めてください。この位置をB点とします。
- ④ 検出物体を所定の位置に置いてください。
- ⑤ ④の状態より感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を最小にし、徐々に最大 (MAX) の方向へ回し、入光 (LIGHT) 表示が点灯する位置で止めてください。この位置をA点とします。A点とB点の中間に感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を設定すれば最適の調整となります。

	入光 (LIGHT) 表示灯 (赤)	安定 (STABILITY) 表示灯 (緑)
検出物体	点灯	点灯
背景物体	消灯	点灯

上表の状態であることを確認してください。

●調整方法(II)

検出物体の反射率が背景物体より低い場合

- ① $b = 30 \pm 3$ mmにセットしてください。
- ② 検出物体を取り除いてください。
- ③ 感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を最小 (MIN) の位置より徐々に最大 (MAX) の方向へ回し、入光 (LIGHT) 表示が消灯する位置で止めてください。この位置をB点とします。
- ④ 検出物体を所定の位置に置いてください。
- ⑤ 感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を徐々に最大 (MAX) の方向に回し、入光 (LIGHT) 表示が点灯する位置で止めてください。この位置をA点とします。
- ⑥ A点とB点の中間に感度調整ボリューム (SENSITIVITY) を設定してください。

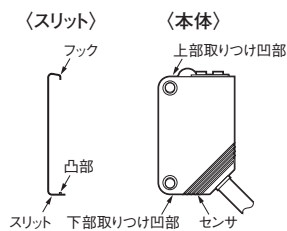
	入光 (LIGHT) 表示灯 (赤)	安定 (STABILITY) 表示灯 (緑)
検出物体	消灯	点灯
背景物体	点灯	点灯

上表の状態であることを確認してください。

注. 検出物体で出力リレーを ON (無接点出力を "H") とするときは、動作切り替えスイッチを "DARK ON" 側としてください。

形E3Z

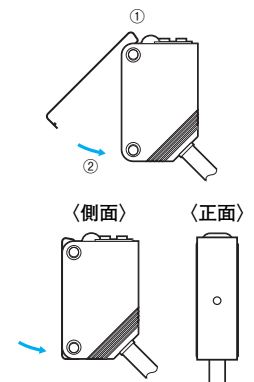
透過形専用スリットについて (別売アクセサリ/形E39-S65A/B/C/D/E/F)



【取り付け方法】

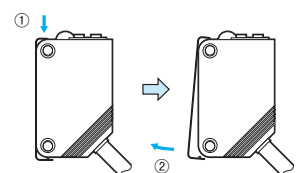
1. スリット上部のフックを、センサ上部の取り付け凹部に引っ掛け、レンズ面に水平にする。
2. スリット下部の凸部を、センサ下部の取り付け凹部にはめ込む。

【取り付け状態】



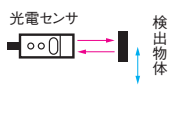
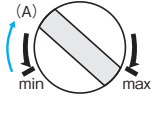
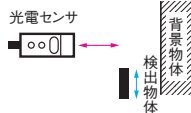

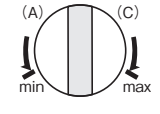
【取り外し方法】

1. スリット上部を押さえる。
2. スリット下部の凸部をセンサから離してスリットを外す。



形E3Z

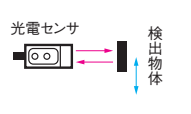
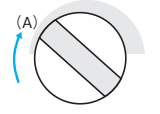
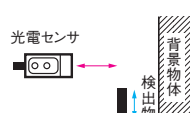

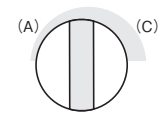
感度調整(拡散反射形、入光時ONの場合)について

順序	検出状態	感度調整ポリウム	表示灯の状態	調整手順	
① ポリウム位置(A)			点灯→消灯 安定表示灯(緑)	消灯→点灯 動作表示灯(橙)	検出物体を所定の位置に置き感度ポリウムを右に回し(感度を上げる)動作表示灯(橙)が点灯するポリウム位置を(A)とします。
② ポリウム位置(B)(C)			点灯→消灯 安定表示灯(緑)	点灯→消灯 動作表示灯(橙)	検出物体を取り除き、感度ポリウムをさらに右に回し、背景物体で動作表示灯(橙)が点灯するポリウム位置を(B)とします。(B)より感度ポリウムを左に回し(感度を下げる)動作表示灯(橙)が消灯するポリウム位置を(C)とします。背景物体のない場合は最大のポリウム位置を(Max)(C)とします。
③設定	—		点灯 安定表示灯(緑)	点灯↔消灯 動作表示灯(橙)	ポリウム位置(A)と(C)の中間位置に設定します(最適感度設定)。また、検出物体の有無のそれぞれの状態で安定表示灯(緑)が点灯することを確認ください。点灯しないときは余裕が少ないので検出方法を再検討ください。

注. 検出物体より背景物体の反射率が高い場合、①のポリウム位置は背景物体、②のポリウム位置は検出物体として設定してください。

形E3ZM/形E3ZM-C

感度調整(拡散反射形、入光時ONの場合)について

順序	検出状態	感度調整ポリウム	表示灯の状態	調整手順	
① ポリウム位置(A)			点灯→消灯 安定表示灯(緑)	消灯→点灯 動作表示灯(黄)	検出物体を所定の位置に置き感度ポリウムを右に回し(感度を上げる)動作表示灯(黄)が点灯するポリウム位置を(A)とします。
② ポリウム位置(B)(C)			点灯→消灯 安定表示灯(緑)	点灯→消灯 動作表示灯(黄)	検出物体を取り除き、感度ポリウムをさらに右に回し、背景物体で動作表示灯(黄)が点灯するポリウム位置を(B)とします。(B)より感度ポリウムを左に回し(感度を下げる)動作表示灯(黄)が消灯するポリウム位置を(C)とします。背景物体のない場合は最大のポリウム位置を(Max)(C)とします。
③設定	—		点灯 安定表示灯(緑)	点灯↔消灯 動作表示灯(黄)	ポリウム位置(A)と(C)の中間位置に設定します(最適感度設定)。また、検出物体の有無のそれぞれの状態で安定表示灯(緑)が点灯することを確認ください。点灯しないときは余裕が少ないので検出方法を再検討ください。

注. 検出物体より背景物体の反射率が高い場合、①のポリウム位置は背景物体、②のポリウム位置は検出物体として設定してください。